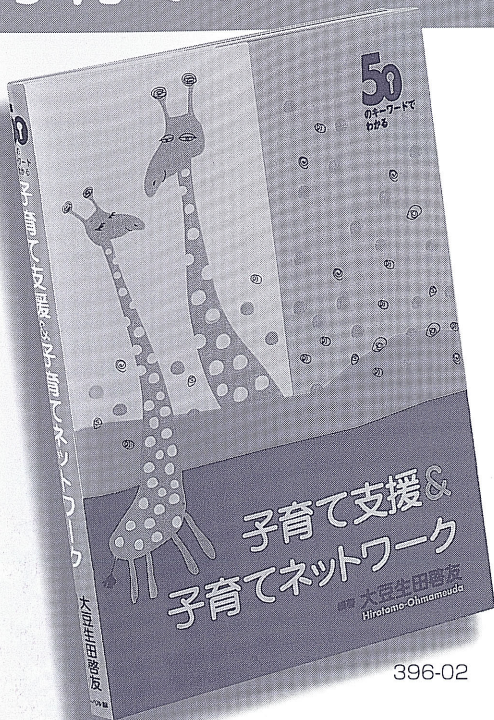


## 50のキーワードでわかる

子育て支援&  
子育てネットワーク

大豆生田啓友 編著



都市化、核家族化が進んだ今、子育ての悩みや不安を抱えて戸惑う親たちが増えています。このような親世代をどのようにして支援していったらよいのでしょうか。本書は、子育て支援や子育てネットワークについて基本的な50のキーワードをあげ、わかりやすく解説しています。子育てや保育の現場での支援のありかたを考える1冊です。

19×13cm 176頁  
定価1,260円(税込)

396-02

### 【キーワードから】

子育ての孤立化／いまだきの親世代  
子育てひろばの環境／子育て相談  
子育て支援者の専門性／子育てネットワーク  
子育て情報発信  
ピアカウンセリングとファシリテーター  
虐待防止のための支援／保育所の子育て支援  
幼稚園の子育て支援  
ファミリーサポートセンター ほか

キンダーブックの

# フレブル館

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部 (03) 5395-6608にお問い合わせください。

8 地域の子育て支援と  
子育てひろば

子が育つ支えを必要とする地域における拠点型の子育て支援

親族が多岐にわたる子育て支援の中で拠点親子育て支援の重要性が高まってきたのは、親子が安心して気軽に訪れることができる場所が少なくということとともに、街づくり、地域の活性化にからむ暮らしの場としての可能性が多分にあるからではないかと思えます。

熱心型の子育てひろばには、主に保育所などに異動されている「地域子育て支援センター」をはじめ、NPO法人などの団体等も活動している「子育て広場事業」。社会福祉協議会が中心となっていて「子育てサロン」などがあります。今までは熱心型の子育て支援は行政が進めるものという考えがありましたが、現在ではNPO法人をはじめ、さまざまな団体において実践されるようになってきました。そしてはるばる、教育的な活動だけでなく、地域の方々がフリースペースとして参加したり、企業との連携を進めたりと、既存の施設型組織を超えた新しい形が探索されています。

「子育てでひろば」とは  
既述の子育て支援では、とくに施設の設備やプログラムだけ  
を考えれば十分です。大切なことは場所を確保することだけではな  
く、そこに地域のみんながかわかる「子育てでひろば」をつくる  
ということだと思います。飛倉さまごまごまの活動の呼び名とし  
て「子育てでひろば」を名づけたのもうまいくらいいいなと思っ  
ますが、ここであいう「子育てでひろば」とは考え方を指し示すも  
のですね。では、「子育てでひろば」とは何なのか、大切な要素を  
考えてみたいと思います。

【総合性をもって】  
手育での営みはさまざまな要因がからみ合ったものであり、暮らしの営みそのものです。それを実践していくわけですから、単に遊ぶ場を提供する、講座をもつというだけでなく、それぞれのものが有機的に交わりながら、暮らしの中さまざまなものに対応していく活動となります。教子で集まる時間がある、育児死闘の時間があるといった、単にメニューを教えるのとでは違うということです。

たとえば、引っ越してきたばかりで友だちがいなく、誰にも相談もできずに悩んでいるという母親がいたとします。電話でそうした相談を受けた場合、気持ちを受けとめるということは